

公益目的支出計画に係る主な論点及び検討の視点

I. 公益目的財産額の算定

1. 帳簿価額以外の評価額とすべき資産の範囲、評価方法

《検討の視点》

- ・ 時価と簿価との乖離の程度、乖離発生の蓋然性
- ・ 法人の事務負担
- ・ 評価の適正性の確認方法

2. 引当金・準備金の取扱い

《検討の視点》

- ・ 会計慣行との整合性
- ・ 公益目的支出計画制度の趣旨との整合性
- ・ 評価の適正性の確認方法
- ・ 公益目的財産額又は公益目的財産残額への反映方法

3. 評価の時点

《検討の視点》

- ・ 申請に当たり提出された計算書類等の作成の日と移行の日との時点のずれの調整の要否

II. 公益目的支出計画における公益の目的のための「支出」の取扱い

1. 売却損益・滅失損等の取扱い

《検討の視点》

- ・ 減価償却の取扱いとの整合性
- ・ 「公益の目的」との関連性

2. 引当金繰入、準備金設定の取扱い

《検討の視点》

- ・ 公益目的財産額の算定における取扱いとの整合性

Ⅲ. 公益の目的のための支出をした事業に係る「収入」の取扱い

1. 事業収入の範囲

《検討の視点》

- ・ 「支出をした事業」との関連性の程度

2. 「収入」が「支出」を超過した場合の当該超過額の取扱い

《検討の視点》

- ・ 「超過額」の調整の是非
- ・ 「公益目的財産残額」への反映方法

以上